

日本農芸化学会2022年度大会

オンライン開催

スポンサードセミナー企画募集

(旧ランチョンセミナー)

ご案内・申込書

日本農芸化学会は、農芸化学の進歩を図り、それを通じて科学、技術、文化の発展に寄与することを目的として、1924年に設立された学術団体です。2024年に創立100周年を迎えます。

会員数 (学会ホームページより2021年引用。 2021年2月末現在)

名誉会員	有功会員	シニア	一般	教育	学生会員	ジュニア	団体会員	賛助会員	国外	合計
16	214	258	6,889	96	2,358	9	247	97 (口数 181)	37	10,221

10,000名を超える学術団体で、大会の参加登録は例年約4,000名と、90年以上の歴史と伝統のある日本農芸化学会で、ぜひスポンサードシンポジウム（旧ランチョンセミナー）を介し貴社のテクノロジー、製品、サービスなどを参加者にお伝えください。

公益社団法人 日本農芸化学会

会 長 松山 旭

日本農芸化学会2022年度大会

実行委員長 宮川 恒
(京都大学大学院農学研究科)

■ ごあいさつ ■

謹啓 御社におかれましては、平素より日本農芸化学会の諸事業に格別の御高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の収束に見通しがつかない状況でございますため、日本農芸化学会2022年度大会(京都大会)は、2022年3月15日(火)～18日(金)、授賞式・受賞講演を除き、オンラインにて開催させていただくこととなりました。

本学会は「生命・食・環境」をテーマとし、バイオサイエンスやバイオテクノロジーの基盤研究から産業化までを視野に入れた世界に類を見ない総合科学を推進しております。毎年開催しております大会へは、全国の大学・附属研究施設、国公立研究所・試験研究機関、民間企業・研究機関、バイオ関連ベンチャー企業、知財関連法人等から4,000名にのぼる研究者が参加し、最新の研究成果の発表・討論だけでなく、企業各社と参加者との活発な情報交換が行われております。また、バイオサイエンスやバイオテクノロジー領域の機器・試薬・書籍・食品等の最新の情報を大会附設展示会において学会参加者の皆様にご提供させていただくとともに、スポンサードセミナー(旧ランチョンセミナー)においては幅広い“農芸化学分野”に関わる数多くの企業関係の皆様から情報を発信していただき、産学官連携の推進に努めております。

オンライン開催となります京都大会におきましても、対面での大会に劣らぬ情報発信・情報交換の場を提供すべく鋭意システムを整えておりますので、企業関係の皆様におかれましては、本大会のオンライン展示会とオンラインスポンサードセミナーを活用した情報の発信および交換につきまして、是非ともご検討いただくとともに、ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

なお、展示会運営業務は株式会社エー・イー企画に委託しております。お問い合わせ・お申し込みは同社宛に直接ご下命下さい。

最後に、コロナ禍を乗り越えて、皆様方の企業活動が一刻も早く元の状態に復することを心よりお祈り申し上げます。

謹白

公益社団法人日本農芸化学会
会 長 松山 旭

日本農芸化学会2022年度大会
実行委員長 宮川 恒

(京都大学大学院農学研究科)

◆日本農芸化学会とは...

日本農芸化学会は、農芸化学分野の基礎及び応用研究の進歩を図り、それを通じて科学、技術、文化の発展に寄与することにより人類の福祉の向上に資することを目的として、1924年に設立された学術団体です。以来、組織の面でも着実に発展し、1957年に文部省の認可によって社団法人となり、2014年に創立90周年を迎えました。また、2012年3月1日付けで公益社団法人へ移行いたしました。

バイオサイエンス・バイオテクノロジーを中心とする多彩な領域の研究者、技術者、学生、団体等によって構成される本学会は、創立70周年を迎えた1994年を契機に、さらに一層の展開を図るべく、国際活動の推進、国際学術集会開催の積極的支援を実現し、実用性と応用性を基盤とする農芸化学の重要性を広く紹介しています。

● 大会概要

●名称 和文名 日本農芸化学会 2022 年度大会

英文名 The 2022 Annual Meeting of Japan Society for Bioscience, Biotechnology, and Agrochemistry

●開催機関名称 主催 公益社団法人 日本農芸化学会

運営 日本農芸化学会 2022 年度大会実行委員会

●会期 2022 年 3 月 15 日(火)～18 日(金)

●形式 オンライン開催

●参加者数 約 4,000 名 ※招待者等含む

●大会開催の目的と意義

日本のバイオサイエンスやバイオテクノロジーの基幹であります当学会の大会には、日本全国の大学・付属研究施設、国公立の研究所・試験研究機関、民間会社・研究機関、バイオ関連を含むベンチャー企業、知財保守関連法人等より、4,000名程の研究者が集まります。大会では「生命・食・環境」の広範囲な分野をカバーする最新の研究成果が発表・討論され、情報交換が行われます。

私ども実行委員会は、全力を挙げて国際的にも水準の高い大会の成功のために努力したいと念じている次第であります。また、本大会は、生命・食・環境研究の中核を担い、バイオサイエンスやバイオテクノロジーを基盤としてその産業化をめざす、世界に類を見ない総合科学を推進する場であり、21世紀にふさわしい研究推進のために開催するものであります。そして、交流、研究発表、研究情報の交換の場の提供を通じて、研究の更なる振興を図るとともに若手研究者の育成も行っております。

● スポンサーセミナー開催概要

(1) 目的 貴社の新素材、製品開発の発表、共同研究の提案

(2) 開催日程 2022年3月16日(水)、17日(木)、18日(金)

(3) 開催時間 大会の昼時間 50分
1日5社程度の並行開催になります。

(4) 会場 日本農芸化学会2022年度大会のオンライン特設サイト

(5) 講演形式 オンライン・Zoomを使用。ライブ配信
日本農芸化学会と貴社との共催といたします。

(6) 共催費 1セミナー 220,000円(消費税込)
大会参加ID・パスワードを5名分提供いたします。

大会ホームページ、プログラム検索(大会ホームページより)では、演題名、演者、座長名などを紹介いたします。

※トップページに共催企業のロゴマークを表示することも検討しています。ご希望の場合はお送りください。



また、講演要旨集 PDF 版(電子ジャーナル)では、要旨を掲載いたします。(A4判 1 ページ分)

※お申込み後(E-mail による申込受理後)は、原則取り消しはできません。したがって共催費の返金や未入金
は認められませんのでご了承の上、お申込みください。

(7) 申込方法 申込用紙に必要事項をご記入の上、申込先に E-mail または FAX でお送りください。

申込用紙に希望される発表日をご記入ください。

演題や演者が未定でも、お申込みはできます。

申込枠数に達した場合、締切日前に募集を終了する場合がございます。ご了承ください。

(8) 申込締切日 **2021 年 12 月 3 日(金)**

(9) 申込先 株式会社エー・イー企画 日本農芸化学会 2022 年度大会展示会事務局

Tel. 03-3230-2744 FAX.03-3230-2479 E-mail. e22jsbba@aeplan.co.jp

〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋 2-4-4 一ツ橋別館 4F 担当: 関根

- 注意事項
- ・今大会のスポンサードセミナーは、1日5社程度を予定しております。例年、大会2日目（16日）、3日目（17日）に開催希望が集中し、1会場あたりの参加者が少なくなる可能性がありますので、4日目（18日）の開催もご検討ください。
 - ・大会より参加者に関する情報（氏名、所属、E-mail アドレス等）を提供することはございません。あらかじめご了承ください。
 - ・単なる製品説明ではなく、背景となる原理・理論の解説や役立つ応用例の紹介など、魅力ある新製品・新技術の解説講演になるよう工夫をこらしていただけると幸いです。
 - ・製品説明以外にも貴社の様々な活動（補助金や寄付金による社会活動など）の発表でも結構です。講演依頼される場合は貴社にて行って頂きます。
 - ・司会進行は貴社で行って頂きます。
 - ・本スポンサードセミナーと関連し、より具体的な個別の説明の場として、「オンライン展示会」のご活用も併せてご検討ください。
 - ・お申込み後に、請求書を発行いたします。お振込み期限は2022年2月25日です。
 - ・プログラム集（電子版）、プログラム検索（大会ホームページより）に掲載します。
- ご用意いただく原稿は下記の通りです。
- ① 演題名・演者（複数演題の場合は演題順に記載）、座長・司会名。
 - ② 講演要旨集 PDF 版（電子ジャーナル）に掲載の要旨原稿（A4 版 1 枚カラー可）
- 原稿締切予定日は 2022 年 1 月 28 日（金）

出展の解約（キャンセル）について

申込受理後は、実行委員会が不可抗力と認めた事故以外は原則解約することはできません。実行委員会が解約を認めた場合でも、出展の解約理由を書面にてお送りいただき、受領した日を基準として解約料金をお支払いいただきます。

解約 2021年12月3日迄に受領した場合 …… 請求額（出品料金）の50%の金額をお支払いいただきます。
2021年12月4日以後に受領した場合 …… 請求額（出品料金）の全額をお支払いいただきます。

※天災・その他のやむを得ない事情、並びに運営事務局の責任に帰し得ない原因により、スポンサードセミナーの開催を変更・中止する場合があります。

この変更により生じた協賛各社の損害は補償できかねます。前述の原因により開催中止を決定した場合には、事務局は協賛各社に対し、納入された協賛費から準備（大会サイト上への申込各社の情報掲載等）の費用を差し引いた金額を算出し、返金することを予定しております。

ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

以上

日本農芸化学会2022年度大会 スポンサードセミナー共催申込書

年 月 日

会 社 名：

所 在 地：（〒 ）

－住 所－

ご担当者：

部

課

TEL.

E-mail※：

※E-mailアドレスは必ずご記入ください。

《講演内容》 ※演題、演者が未定の場合は未記入で結構です

演 題：

講演者名：

所 属：

発表希望日： 第1希望日 3月 日

第2希望日 3月 日

講演概要＜講演内容や演者等の情報を記載ください＞

申込締切日：2021年12月3日

※プログラムおよび講演要旨集の原稿締切日：2022年1月28日